

第14期第10回国立市ごみ問題審議会 議事録

日 時 令和7年（2025年）11月27日（木）午後2時～午後3時
場 所 国立市役所3階 第2会議室
出席者 山谷会長、楠田副会長、山崎副会長、神山委員、佐藤委員、田中委員、長嶋委員、山岸委員（委員は50音順）
事務局 清水ごみ減量課長、吉村ごみ減量課長補佐、中嶋環境センター所長、菊次清掃係主任

【議事要旨】

1 国立市循環型社会形成推進基本計画の改訂について

（1）第3次国立市循環型社会形成推進基本計画案について、資料2「第3次循環型社会推進基本計画における第9回ごみ問題審議会終了後に修正した箇所一覧」、資料3「「第3次国立市循環型社会形成推進基本計画案」に対する意見募集（パブリックコメント・市民説明会）の結果」、資料4「第10回ごみ問題審議会Q&A表」を事務局から説明した。

【山谷会長】ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。

【楠田副会長】資料4については私にてコメントさせていただきました。最終の確認ということなので、学生の論文を見る気持ちで確認させていただきました。

【山谷会長】基本計画案については、これまでこの審議会としても点検し、パブリックコメントや市民説明会、並びに議会の意見を受けて、この内容に至っているということです。

【田中委員】改めて、この基本計画案を読み直したら、丁寧に読みやすいと思いました。

【山谷会長】ごみ行政の歴史や記録として読む場合、非常に便利だと思いました。

【事務局（清水課長）】意見が深まるように、簡単にご報告させていただきます。まず、こちらの計画案については、議会の建設環境委員会に報告しました。その上で、和暦と西暦の表記はとても分かりやすいという意見がございました。また、この計画自体は本当によくできているという意見がございました。その他、生ごみの減量について、目標値を定めて欲しいという意見がございましたが、具体的な数値は難しいので、今回の修正のような表現になっております。次に、市民説明会について、参加者と有意義な質疑ができたと思っております。最後に、パブリックコメントについて、前向きなコメントをいただきました。例えば、キエーロの講習を駅舎でやって欲しいという意見があり、今後はやっていきたいと思います。また、YouTubeのショート動画を3本作成しましたが、行政としては短期間でかなりの再生回数となり、市役所内部から今後も前向きに取り組むよう言われております。

【長嶋委員】資料3の16について、「貴重なご意見として承る。」ということですが、それで終わりなのでしょうか。内容について、考えても良いのではないかと思います。

【事務局（清水課長）】記載内容については、公表されているので変更することは難しいですが、表現については今後も改善していきたいと思います。

【長嶋委員】いつも同じようなメンバーが参加されると思うので、何かおまけがあっても良いと思います。

【事務局（清水課長）】このような説明が定期的に開催されていれば、積極的にも可能ですが、そ

ではないという実情があります。ただ、モチベーションを上げる取り組みはやっていきたいと思います。

【山谷会長】お土産じゃなくても、行政の施策に関心を持っていただき、環境イベントか何かにお越し頂いたら、行政ポイントを差し上げるというのは1つの考え方としてはあると思います。また、ペットボトルを買ったところに返却して、ポイントがつくということを民間企業ではやっていましたね。その他、過去に商工会関連で、行政と連携してポイントを差し上げるという支援をされていたこと也有って、それも1つのモチベーションを上げる方策にはなると思います。ただ、お土産という表現はあまり良くないのかもしれません。

【山崎副会長】SDGsのロゴについて、拡大すると少しずれていたり、サイズが違ったりするので、可能であれば修正をお願いします。

【事務局（清水課長）】修正します。

【事務局（吉村課長補佐）】第2次計画のごみ量の目標について、令和6年度については達成しています。ただし、細分化すると可燃ごみは未達成、資源ごみは達成、集団ごみが当初の予定より少ないなど、1つ1つ見るとそういう現状になります。また、令和7年度についても達成予定となります。

【事務局（清水課長）】1人1日当たりの排出量については、前回の16位から14位となり、良くなっています。家庭ごみについては、トップクラスの小金井市と遜色ない結果になっております。ただ、地域の特性として、事業系ごみが多いという結果になっています。引き続き、安定した運営をやっていきたいと思っています。

【山谷会長】それでは、この基本計画案については、審議委員の皆様から了承をいただいたこととさせていただきます。

2 その他

（1）今後の予定について

今年度の審議は終了し、次回は答申となることを事務局から説明した。

（2）次回の日程について

答申について、令和8年1月20日（火）15時から市長公室で行うこととなった。

（3）その他

答申以降の流れについて、府内決裁を取り、方向性を確認し、令和8年4月1日から計画のスタートということなることを事務局から説明した。

— 了 —